

財団ニュース

ひな人形と春の書画展

三月二日(木)から三月三十一日(金)まで、特別展「ひな人形と春の書画展」が開催されました。毎年恒例の展示ですが、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の為に、初めて中止を余儀なくされました。

この展示では、竹原頼家に伝来したひな人形を中心に紹介していますが、頼家の親戚田中家伝来のひな人形は、髪の一部が傷んでいたのでお休みさせることにし、久しぶりに春風館旧蔵のひな人形を紹介しました。初節句のお人形を持って福山から竹原の頼家に嫁い



3月4日には展示解説会が行われました。

だヨネさんが集めたものと伝えられています。

また、今年も広島市在住の人形作家湯本慎子さんの「雛豆」や全国各地の民芸ひなを集めた川手コレクシヨン、広島市立基町幼稚園長組の園児たちの作ったひな人形やひな絵を展示しました。

頼山陽史跡資料館でこの「ひな人形と春の書画展」を開催するようになって二十年以上になります。その時々で工夫しながら展示に取り組んできましたが、これからのように継承し継続していくか、皆で知恵を絞ってみたいと思います。殺伐とした時代だからこそ、年中行事や伝統行事に込められた思いを大切にしていきたいものです。

ひな祭り茶会

令和五年三月五日(日)、三年ぶりに財団主催の「ひな祭り茶会」を開催しました。

新型コロナウイルスについては、五月八日から感染症法上の分類において2類から5類に引き下げられることが決まり、マスクの着用も緩やかになってきています。そんな中で久しぶりに開催されたひな祭り茶会でしたが、三葵亭賣茶流の石村良雪先生御社中による御

点前で煎茶を味わっていただきました。

資料館では「ひな人形と春の書画展」を開催中ですが、こうして大勢の方が集まり、節句を嬉しむことが出来る喜びをしみじみと感じています。五月五日には、財団主催で端午の節句茶会を開催予定です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



ロビーでは、南宗画士岡原大華先生絵付けによる煎茶道具も披露されました。

ロビーコンサート

三月十二日(日)、久しぶりにロビーコンサートを開催しました。出演者は、広島在住の尺八演奏家山本観山さんです(助演・箏奏者の清川紗衣さん)。

このロビーコンサートは、邦楽・洋楽などのジャンルを問わず、これまで五十回以上開催してきま

した。記念すべき第一回は平成十九年七月二十八日のことですが、その時ご出演いただいたのが山本観山さんでした。



「雲か山か」第一二四号

発行日/二〇二三年三月三十一日  
発行者/公益財団法人頼山陽記念文化財団  
〒730-0326 広島市中区袋野五番五号  
電話 〇八二一五四二一七〇二二  
FAX 〇八二一五四二一〇二二五  
発行責任者/山本 靖雄  
編集責任者/川西 祐二

雲か山か

「雲か山か」  
第124号  
発行者  
公益財団法人  
頼山陽記念文化財団  
2023年3月31日

目次

令和五年度  
頼山陽史跡資料館の展示案内  
.....二〇三頁

こんな手紙があった!

頼山陽とその周辺の新出資料(8)  
——豪潮の天台山園と文化七年後半の頼山陽

.....四〇五頁

愛知県立大学非常勤講師

湯谷 祐三

頼春水と古川古松軒

——令和四年度特集展「頼家ゆかりの絵画」から

.....六〇七頁

頼山陽史跡資料館学芸員

川邊 あさひ

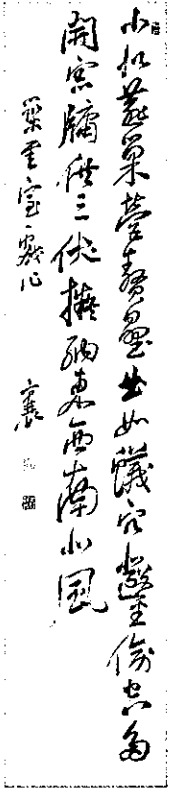
財団ニュース.....八頁



牡丹図  
鈴木華邨筆(個人蔵)



墨牡丹図  
浦上春琴筆・頼山陽賛(個人蔵)



「梁室室戯作」  
頼山陽書(個人蔵)

頼山陽史跡資料館では、令和5年4月4日(木)から特集展「花鳥風月な書画—風雅の世界に遊ぶ—」を開催します。

「花鳥風月」は、自然の中の美しく風流な事物や美しい自然の風情を愛でる風雅な趣味を表現する言葉で、古くから絵画や詩歌の題として取り上げられてきました。本展ではそうした「花鳥風月」が書画としてどのように表現されたかに迫り、風雅な世界へと皆さんを誘います。素直な心で“感じて”みてください。皆様の御来館をお待ちしています。